



神奈川スバル株式会社



RA SURTEES



AUTOBACS SUPER GT SUZUKA Round3 300Km RACE





神奈川スバル株式会社



<公式練習 / 1位>

第3戦鈴鹿は、本来6月に行われる予定でしたが、コロナの影響から延期となり、この8月に開催となりました。前回の茂木は色々な選択ミスから結果に繋がらず、ここは必ず得意なサーキットでもあるので、結果を残していきたい気持ちが強い。まず練習では、2種類のタイヤの確認を行います。走り始めからマシンのバランスは良く、細かいアジャストだけで十分な手応えでした。朝の天候では、いつ雨が降ってくるかわからない状況だったので、2セット確認後、すぐに井口選手と交代し、井口選手も完全ドライのバランスを確認して貰いました。新しいタイヤでのバランスは良いのですが、ロングのバランスが良くない状況。色々セットを変更していく度に良くなっていきましたが、この練習走行の時点から、YOKOHAMAタイヤを履くマシンの決勝ペースの良さが非常に目立っていました。





神奈川スバル株式会社



<公式予選 / 1位>

今回もQ1を担当するのは、井口選手。予選は、A組とB組に分かれて台数は半分になりますが、ポジションはトップで通過。お見事。岡山のQ1敗退から、彼自身自分を凄く追い込み、トレーニングやシミュレータートレーニングを一緒に行い、努力を常に見ていたのので、非常に嬉しかったです。井口選手からマシンバランスは、彼で丁度良いアンダーステアなので、フロント車高を下げ、リアウイングも少し減らして、よりフロントの旋回性を上げる方向に振っていきました。Q2を担当するのは自分(山内英輝)です。その調整でうまく合わせ込む事ができ、Q2でもトップタイムを獲得。今期2度目のポールポジションを取ることができました。持込みからバランスが良く、井口選手とも長く組んでいるからこそ、お互いの好み度合いも調整がしやすい。チーム皆で掴んだポール。本当に嬉しいです。





神奈川パール株式会社



<決勝 / 10位>

決勝スタートを担当するのは、自分です。まずは、前半ステイントで出来るだけ、引き離していきたいところ。決勝前に行われたフリー走行では、昨日と比べて大きくバランスが違っていました。原因は、路気温が考えられます。今年は、この気温から来るバランス変化に本当に悩まされます。さすがにピーキー過ぎるために、リアバネを下げて決勝に挑みます。スタート直後は、タイヤが元気な時は、やはりバランスは良く、序盤逃げていけるかなと思った矢先にSCが入ります。ただその1周前から極端にリアタイヤのグリップ低下を感じ、SCでタイヤを冷やして、グリップが回復してこないかなと望んでいました。ただSC明けのシケインのブレーキで、リアタイヤのグリップは回復していない事がわかり、すぐに車内にあるスタビでリアの安定感を出して行けるように調整しますが、それだけでは全く足りてませんでした。





神奈川スバル株式会社



SC明けに2位を走るスープラにダンロップコーナーで抜かれてしまい、想像以上にリアのグリップが落ち込み、アクセルオンが遅れたために、3位を走るフェラーリにも抜かれてしまい、ポジションを3位まで落としてしまいます。まだ後ろからも数台来ていますが、何とか3位は守り抜くことは出来ました。周回数も21周目にチームからピットの指示があり、自分自身まだ今のペースならキープして走れると伝えますが、ここでSCが入ってしまうと全てレースが失ってしまうので、早めのピットを選択。またバランスは、かなりオーバーが強いので、BRZの得意なリア交換で井口選手に頑張ってもらいます。コース場に戻るとポジションは、6番手。ピットで3つもポジションを落としていました。それから追い上げたい一心ですが、リア交換ですら、オーバーステアが強く、ペースも上がらず、結果10番手までポジションを落としてしまいます。最終的に10位でチェッカーを受けました。菅生テストでは、ロングも安定して速かったのですが、路面コンディションなど、何かしらの影響があつてのペースダウンだと考えています。次戦の菅生戦までに、オートポリスでテストがあります。そこで今回の原因を見つけ、色々な要素を考えながらテストを行い、菅生戦では、決勝でも速いBRZを見せれるように頑張ります。引続き、ご声援の方よろしくお願い致します。

